

Adobe Technical Communication Suite (2019 release) インストールガイド

1. Adobe Technical Communication Suite (2019 release) のインストール

Adobe Technical Communication Suite (TCS) は、技術情報やトレーニングコンテンツをオーサリング、レビュー、管理およびパブリッシュするためのエンドツーエンドソリューションです。これを使用して、技術文書、ユーザー支援システム、ナレッジベース、シミュレーション、ソフトウェアデモおよびその他のサポート情報を作成および管理できます。

この文書では、次の内容について説明します。

- Adobe TCS のインストールに必要なシステム構成については、次を参照してください。[必要システム構成](#)
- 最新バージョンを入手するための様々な手段については、次を参照してください。[Adobe TCS の入手](#)
- DVD や電子ダウンロードからダウンロードする方法については、次を参照してください。[Adobe TCS のインストール](#)
- 一般的なインストールの問題に対する解決策については、次を参照してください。[トラブルシューティングのヒント](#)

1.1. 必要システム構成

Adobe TCS または Adobe TCS バンドルの個々の製品をインストールする前に、お使いのシステムが次の要件を満たしていることを確認してください。

- [コアハードウェアとオペレーティングシステム](#)
- [サポートされているソフトウェア](#)
- [サポートされている言語](#)
- [出力の公開用にサポートされるブラウザー](#)

コアハードウェアとオペレーティングシステム

カテゴリ	Adobe TCS	Adobe RoboHelp	Adobe FrameMaker	Adobe FrameMaker Publishing Server
プロセッサ	Core i3 またはそれより高速のプロセッサ			Intel Core (Broadwell)
オペレーティングシステム	Microsoft Windows 10、8.1 または 7			Microsoft® Windows® Server 2012 R2 または 2016
RAM	4 GB 以上	2 GB 以上		4 GB 以上
ハードディスクの空き容量	10 GB 以上	3 GB 以上		8 GB 以上
アーキテクチャ (CPU およびオペレーティングシステム)	64 ビット		64 または 32 ビット	64 ビット
追加のソフトウェア	JRE 8	-	JRE 8	-
サポートされる最大画面解像度	4K (3480 x 2160、8.3 メガピクセル、縦横比 16:9)			

重要: 大文字と小文字が区別されるファイルシステムを使用するボリュームや、取り外し可能なフラッシュストレージデバイスへのインストールはサポートされていません。

サポートされているソフトウェア

ソフトウェア	Adobe TCS	Adobe RoboHelp	Adobe FrameMaker
Microsoft Word	2016、2013 または 2010		
Adobe Acrobat	Pro 2017 または Pro DC		
Adobe Captivate	2019	2019*	2019、2017
Microsoft SharePoint	2016、2013、2010 または Online	Online*	2016、2013、2010 または Online
Adobe Presenter 11.1	O	-	
Adobe Experience Manager 6.4、6.3、6.2	O	-	O
DITA-OT 3.0、2.3	O	-	O

* RoboHelp 2019 はこれらのバージョンをサポートしています。ただし、RoboHelp Classic 2019 は、SharePoint 2010 と Adobe Captivate 2017 のみをサポートしています。

サポートされている言語

Adobe TCSおよびすべてのバンドル製品は、次の言語で利用できます。

- ・ 英語
- ・ フランス語
- ・ ドイツ語
- ・ 日本語

注: Adobe FrameMaker Publishing Serverは英語でのみ利用可能です。

出力の公開用にサポートされるブラウザ

ブラウザ	Adobe RoboHelp	Adobe FrameMaker	Adobe FrameMaker Publishing Server
Google Chrome 65.0 以上	○	○	○
Mozilla Firefox 59.0 以上	○	○	○
Microsoft Edge 40.0 以上	○	○	○
Microsoft Internet Explorer 11	○ (RoboHelp Classic 2018 のみでサポート)	○ (Basic 認証)	-

1.2. Adobe TCS の入手

Adobe TCSの最新バージョンを入手するには、[Adobe TCSポータル](#)を参照してください。必要に応じて、以下を実行していただけます。

- ・ [簡単なフォームに記入して30日間無料のトライアルをダウンロードする。](#)
- ・ [無料プライベートデモをリクエストする](#)
- ・ アドビストアから最新版を購入またはアップグレードする。最新バージョンは DVD または電子ダウンロードファイルとして受け取ることができます。

1.3. Adobe TCS のインストール

Adobe TCS のインストールプロセスは、購入または最新バージョンへのアップグレード中に選択した配布方法によって異なります。

インストールの前提条件

Adobe TCS のインストール中に、特定のアプリケーションがシステムで実行されている場合、エラーダイアログが表示され、インストールが中断されます。したがって、インストールプロセスを開始する前に、競合するアプリケーションをすべて終了してください。

インストール前に終了する必要がある、競合するアプリケーションは以下のとおりです。

Adobe アプリケーション	Microsoft アプリケーション	オペレーティングシステムおよびその他のアプリケーション
Adobe FrameMaker	MS Excel	AutoCAD Map 3D
Adobe RoboHelp	MS Word	Netscape Navigator
Adobe Acrobat Pro	MS Outlook	
Adobe Reader	MS PowerPoint	
	MS Visual Studio	
	MS Access	
	MS メモ帳	
	MS Project	
	文字コード表 (タスクマネージャから終了する)	

次に、選択した配布方法に応じて、適切なインストール手順を実行します。

- [DVD からインストールする](#)
- [電子ダウンロードファイルからインストールする](#)
- [サイレント展開](#)

DVD からインストールする

Adobe TCS は、2 枚組の DVD として配布されます。ディスク 1 には、次のものを含む Adobe TCS バンドルが含まれています。

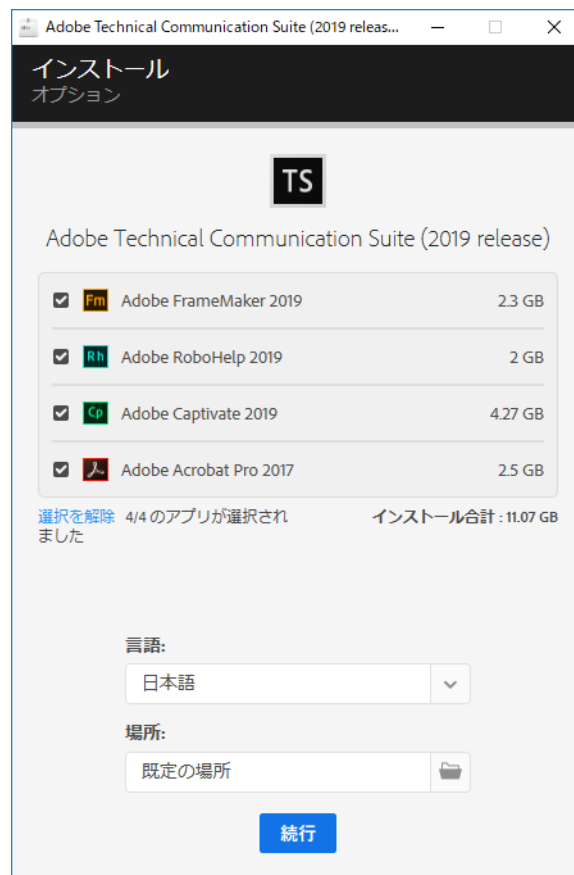
- Adobe FrameMaker 2019 (64 ビット)
- Adobe RoboHelp 2019 (64 ビット)
- Adobe Captivate 2019 (64 ビット)
- Adobe Acrobat Pro 2017 (32 ビット)

ディスク2には次のものが含まれています。

- Adobe Presenter 11 (64ビット)
- Adobe TCS アドオン (Adobe eラーニングアセットと Captivate Voices 32 および 64ビット)
注: サブスクリプションを提供する他の購入プログラムから購入したユーザーを含む、市販のサブスクリプションを使用するユーザーは、Adobe TCS アドオンを利用することはできません。
- Adobe TCS の readme ファイル (Adobe TCS バンドルおよび Adobe TCS バンドルの各製品用)

Adobe Presenter 11 を除いて、Adobe TCS をインストールするには、次の手順を実行します。

- 1) ディスク1を挿入します。
- 2) 適切な DVD ドライブから、Set-up.exe ファイルへと移動します (Adobe Technical Communication Suite 2019 フォルダー内)。
- 3) Set-up.exe をダブルクリックして実行します。
- 4) インストールするコンポーネントを選択し、「続行」をクリックします。



- 5) インストールが完了するまで、インストールのプロンプトに従います。
- 6) ディスク1を取り出します。

注: Adobe TCS を操作するには、[Adobe TCS をアクティブ化](#)する必要があります。ソフトウェアのライセンス認証、サブスクリプションの検証、オンラインサービスへのアクセスにはブロードバンドインターネット接続およびユーザー登録情報が必要です。電話によるライセンス認証はサポートされていません。

注: サブスクリプションユーザーであれば、以下から Adobe Acrobat Pro DC を入手することもできます。

- [Adobe Acrobat Pro DC をダウンロードする](#)。

- ダウンロードとインストールに関するヘルプが必要な場合は、「[Acrobat DCのダウンロードとインストール|サブスクリプション](#)」を参照してください。

電子ダウンロードファイルからインストールする

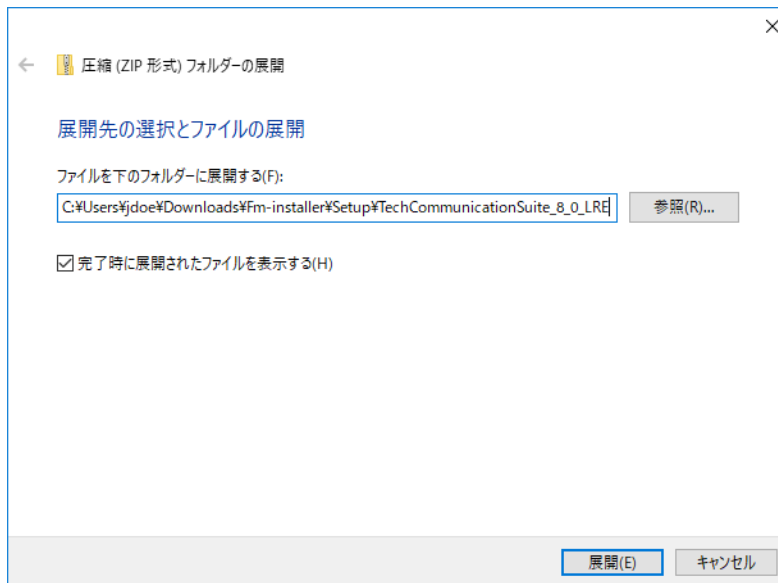
Adobeは、2つの電子ダウンロードファイルを提供しています。

ファイルは www.adobe.com/go/learn_tcs_download_jp からダウンロードできます。

- TechCommunicationSuite_8_0_LREFDJ.zip には、以下の内容が含まれています。
 - Adobe Presenter 11 (64ビット)
 - 次を含む Adobe TCS 2019 バンドル
 - Adobe FrameMaker 2019 (64ビット)
 - Adobe RoboHelp 2019 (64ビット)
 - Adobe Captivate 2019 (64ビット)
 - Adobe Acrobat Pro 2017 (32ビット)
 - Adobe TCS の readme ファイル (Adobe TCS バンドル用)
- TechCommunicationSuite_8_0_Content_LREFDJ.zip には、以下の内容が含まれています。
 - Adobe TCS アドオン (Adobe e ラーニングアセットと Captivate Voices 32 および 64ビット)
注: サブスクリプションを提供する他の購入プログラムから購入したユーザーを含む、市販のサブスクリプションを使用するユーザーは、Adobe TCS アドオンを利用することはできません。
 - Adobe TCS の readme ファイル (Adobe TCS バンドルの各製品用)

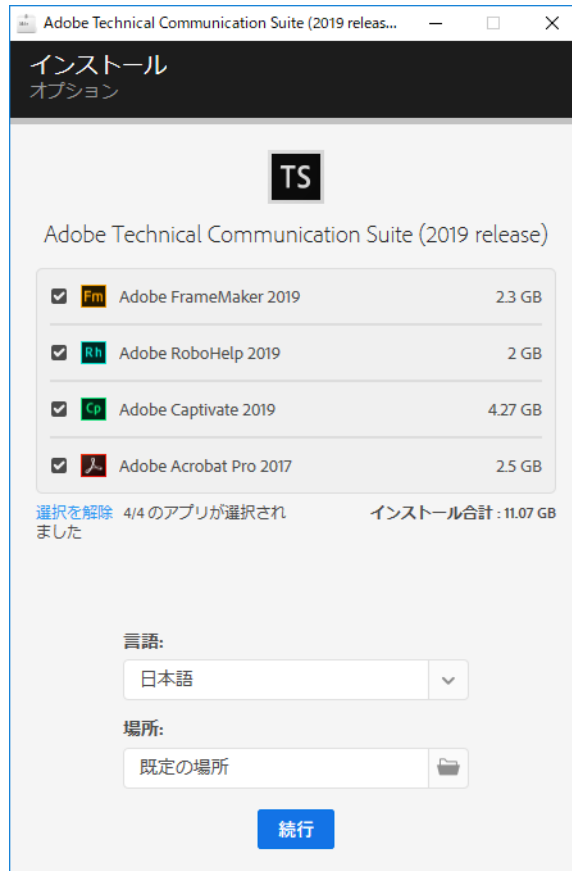
電子ダウンロードファイルから Adobe TCS をインストールするには、次の手順を実行します。

- 1) TechCommunicationSuite_8_0_LREFDJ.zip ファイルを www.adobe.com/go/learn_tcs_download_jp からダウンロードします。
- 2) インストールファイルをデフォルトのフォルダーパスに展開するか、代わりのフォルダーパスを指定します。



- 3) Set-up.exe ファイルがあるフォルダーまで移動します。

- 4) Set-up.exe をダブルクリックして実行します。
- 5) インストールするコンポーネントを選択し、「続行



- 6) インストールが完了するまで、インストールのプロンプトに従います。

サイレント展開

管理者は、ESD ブートストラップ時に Set-up.exe をサイレントモードで実行し、Adobe TCS をインストール、アンインストール、または更新します。次のコマンドライン構文を使用します。

注: 太字フォントの引数は必須です。

- インストールする場合 **Set-up.exe -silent=1 -installLanguage=<language_supported_by_TCS> -proxyUserName=<internet_proxy_username> -proxyPassword=<internet_proxy_password>**
- アンインストールする場合
Set-up.exe -silent=1 -uninstall=1 -sapCode=FRMK -productPlatform=<platform_version> -codexVersion=<codex_version> -deleteUserPreferences=true -proxyUserName=<internet_proxy_username> -proxyPassword=<internet_proxy_password>
- 更新する場合
Set-up.exe -silent=1 -update=1 -sapCode=FRMK -productPlatform=<platform_version> -codexVersion=<codex_version> -installLanguage=<language_supported_by_TCS>

```
-proxyUserName=<internet_proxy_username>  
-proxyPassword=<internet_proxy_password>
```

注:

- `-productPlatform` 引数には、32ビットシステムの場合は `win32`、64ビットシステムの場合は `win64` を指定します。
- `-codexVersion` 引数には、TCS 2017 の場合は `14.0.0`、TCS 2019 の場合は `15.0.0` を指定します。
- `-installLanguage argument` 引数には、英語の場合は `en_EN`、フランス語の場合は `fr_FR`、ドイツ語の場合は `ge_GE`、日本語の場合は `jp_JP` を指定します。

デフォルトでは、ESDクライアントは進捗情報と終了コードをコンソールに返します。親スクリプトや自動化では、終了コードを使用して操作の成功を追跡できます。Exit Code = 0 は成功を意味します。それ以外の終了コードはエラーを意味します。

注: アンインストールや更新の場合、ESDクライアントは自身のコピーを `temp` に作成し、ここからプロセスを実行します。ESDクライアントは `temp` 以外の場所に存在する親コンソールに接続できないため、進捗情報や終了コードは返しません。このため、親スクリプトまたは自動化では終了コードを追跡できないため、ログを使用します。

1.4. トラブルシューティングのヒント

問題: インストール中に「Installation Failed with exceptions」というエラーメッセージが表示され、インストールが中止されます。

解決策: Adobe TCS をインストールする際の前提条件として、インストールプロセスと競合する特定のアプリケーションを終了する必要があります（[インストールの前提条件](#)の一覧を参照）。このようなアプリケーションがインストール中に開いていると、「Installation Failed with exceptions」というエラーが表示され、インストール処理が中断します。アプリケーションを確認して終了し、インストールを再開してください。

問題: システムに Adobe TCS バンドルのすべての製品をインストールできないのはなぜですか？

解決策: Adobe TCS 2019 の最小システム要件は 64 ビットオペレーティングシステムです。Adobe TCS バンドルを 32 ビットのシステムにインストールすることはできません。

または、インストールプロセスと競合するアプリケーションがシステム上で実行されている可能性があります。（競合するアプリケーションの一覧は「[インストールの前提条件](#)」を参照してください）。開いているアプリケーションを閉じて、インストールを再開してください。

問題:

- システムに FrameMaker 2017 と 2019 をインストールしました。FrameMaker 2017 のアンインストール時に、「登録情報が無効が見つかりません。本製品を再インストールしてください。」というエラーが表示されます。
- システムに 32 ビット版と 64 ビット版の FrameMaker 2019 があります。いずれのバージョンのアンインストール時にも、「登録情報が無効が見つかりません。本製品を再インストールしてください。」というエラーが表示されます。

解決策: FrameMaker はバージョン間で共通のレジストリエントリを使用し、バージョン内の両方のビットで使用します。そのため、最初にインストールしたバージョンをアンインストールすると、共通のレジストリエントリが削除されます。これは、最初のバージョンが、同じエントリを使用している、システム内にあるもう 1 つのバージョンを検出できないためです。

例えば、次の場合にこのエラーが発生します。

- FrameMaker 2017 をインストールした後に FrameMaker 2019 をインストールし、次に FrameMaker 2017 をアンインストールした場合。
- FrameMaker 2019 32ビットをインストールした後に64ビットをインストールし、次に32ビットをアンインストールした場合。
- FrameMaker 2019 64ビットをインストールした後に32ビットをインストールし、次に64ビットをアンインストールした場合。

反対に、最後にインストールされたバージョンをアンインストールすると、共通のレジストリエントリを使用している前のバージョンが検出され、エントリは削除されません。この場合、このエラーは発生しません。

この問題を解決するには、アンインストールされたバージョンを再インストールします。FrameMaker.exe ファイルを管理者モードで実行して、必要なレジストリエントリをインストールします。

問題：Acrobat Pro をコンピューターにインストールしようとする時、エラー1603が発生します。

解決策：Acrobat DCバージョンを以前にインストールしていた場合、Acrobat DCはAcrobat Pro 2017よりもバージョンが新しいため、Acrobat Pro 2017のインストールに失敗します。Acrobat DCをアンインストールしてAcrobat Pro 2017をインストールするか、Acrobat DCの使用を続行します。